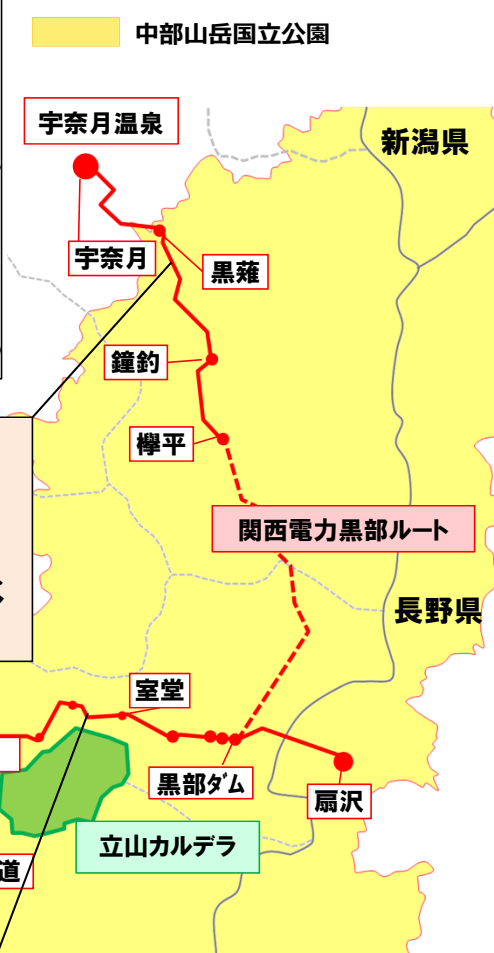


「立山黒部」について～多種多様な魅力～



「自然」、「産業・防災」、「歴史・文化」など多種多様な魅力



新山彦橋



雪の大谷



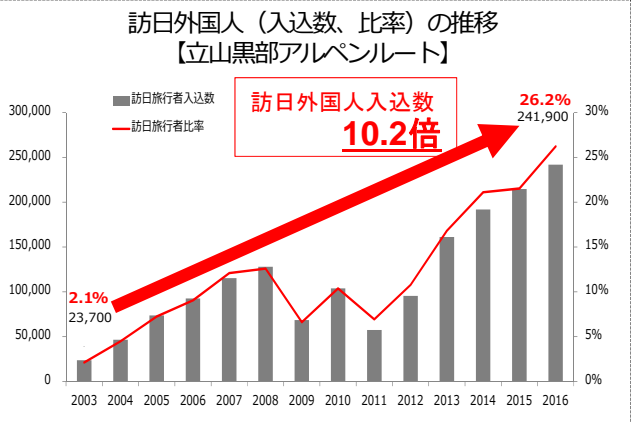
弥陀ヶ原湿原 (ラムサール条約登録(H24.7))



布橋濯い会

黒部峡谷鉄道
 2016年入込客数 **35万5千人**
 (うち訪日旅行者**21,812人**)
 ※訪日旅行者数は2003年に比べ
8.1倍

立山黒部アルペンルート
 2016年入込客数 **92万2千人**
 (うち訪日旅行者**241,900人**)
 ※訪日旅行者数は2003年に比べ
10.2倍



白岩堰堤(重要文化財指定)



黒部ダム

「立山黒部」の世界ブランド化を目指して



「立山黒部」の現状と課題

- 「立山黒部」を訪れる個人旅行者や訪日旅行者が年々増加しており、求められるニーズや期待が多様化している。
- しかし、これまでの「立山黒部」は、団体旅行者を念頭に、多くの人々を受け入れることに主眼が置かれ、求められるニーズや期待に応えるだけの十分なポテンシャルを持っているにも関わらず、多種多様な魅力のほんの一部を提供しているに過ぎなかったのではないかと。
- その結果、特定のスポットでの混雑や、旅行者の満足度の低下、自然環境への負荷の高まりなどの問題が起こっているのではないかと。

平成28年度:「立山黒部」の保全と利用を考える検討会

- **検討会の開催** (3回) ⇒ **中間報告書の作成**

平成29年度:「立山黒部」世界ブランド化推進会議

- **本体会議の開催** (年3回)
 - プロジェクトの進捗管理やブラッシュアップ、新たなプロジェクトについて議論
- <会議スケジュール(予定)>
- 第1回 平成29年 6月1日 各プロジェクトの推進に向けた枠組みを確認
 - ・ 各プロジェクトの責任者(主体的に検討を進める者)、関係者
 - ・ 各プロジェクトの達成に向けたスケジュールイメージ
 - 第2回 平成29年10月 (富山開催)
 - 第3回 平成30年 3月 (東京開催)
- **ワーキンググループの開催** (会議ごとの合間に2月に1回程度の頻度で開催)
 - 安全性や法令に関する課題があり行政とともに具体的な詰めを行うことが必要なプロジェクトや、関連する事業者が共同して実施することが必要なプロジェクトについて検討

中間報告書の概要

「立山黒部」のこれからの方向性

多種多様な「本物の価値・魅力」を、個人旅行者や訪日旅行者にも提供

- 「立山黒部」に多種多様な「本物の価値・魅力」があり、これまで提供してきた「鑑賞型・通過型」の観光コンテンツに加え、個人旅行者や訪日旅行者が求める「体験型・滞在型」の観光についても、多様な楽しみ方が可能な「世界でも類を見ない観光地」である。
- 今後は、「体験型・滞在型」の観光を磨き上げるとともに、アクセス・滞在環境・周遊性・安全確保の問題等について、一体的に取り組んでいく。

「立山黒部」の「本物の価値・魅力」を提供

従来

「鑑賞型・通過型」

雪の大谷
秋の紅葉
黒部ダム

+

「体験型・滞在型」

(例) 環境: 特異な地形・貴重で多様な動植物を楽しむエコツアー
歴史文化: 立山信仰(布橋灌頂会等)の疑似体験
スポーツ: 世界でも類を見ない豊富で良質な雪を活かした山岳スキー
産業: 厳しい自然環境を克服した電源開発の歴史を体験できる
関西電力黒部ルートの見学・体験
防災: 世界文化遺産への登録を目指す立山砂防の見学・体験
健康: 雄大で美しい自然の中を歩くトレッキングツアー
食: 立山黒部の山の幸と富山湾の幸のコラボレーション

環境保全と観光振興の一体的な推進

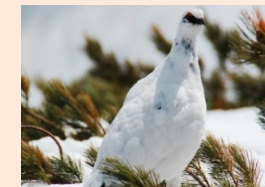
ターゲットは「本物の価値・魅力」を求める世界中の人々

検討を進めるべき「28のプロジェクト」

『「立山黒部」のこれからの方向性』を基に、今後検討を進めるべき「28のプロジェクト」を取りまとめた。

(主なプロジェクト)

- 01 混雑スポットにおける食事・休憩スペースの拡充
- 05 宿泊施設の整備
- 11 黒部ルート見学会の旅行商品化
- 17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイの建設
- 21 登山道の整備
- 27 とやまのライチョウサポート強化、生息状況調査 など



安定的に生息しているライチョウ



クルムホテル(スイス・ツェルマツト)